

EDGE

DESIGNED BY 株式会社

ソフトウェアの機能説明書

EDGE 101

OPTICAL GAMING MOUSE



目次

ソフトウェアの機能について	3
1. MAIN設定について	4
2. SENSOR設定について	14
3. MACRO設定について	21
4. LIGHT設定について	25
5. TEST機能について	26

ソフトウェアの機能について

マクロ機能、センサーの調整、プロファイル機能、LEDの編集などの機能について、本ソフトウェアがインストールされたPCで細かく編集する事が可能です。



番号	ボタン名	機能
①	MAIN	ボタンの設定項目
②	SENSOR	センサーの編集項目
③	MACRO	マクロの編集項目
④	LIGHT	LEDの編集項目
⑤	TEST	マウスのテスト項目
⑥	プロファイル出力	設定したプロファイルをファイルへ出力
⑦	プロファイル入力	保存したファイルからプロファイルの読み込み
⑧	デフォルトへ戻す	初期状態へ戻す
⑨	保存	設定の保存
⑩	キャンセル	取り消し・保存しない
⑪	プロファイル選択	プロファイル1～プロファイル5の選択が可能
⑫	言語	言語の選択
⑬	更新ボタン	ソフトウェアの更新
⑭	ゲームリンク	ゲームとの連動設定をする

1.MAIN設定について

本項目では、[MAIN]の項目で設定できる機能について記載します。



番号	ボタン名	機能
①	ゲームリンクタブ	任意のゲームとプロファイルをリンクし、自動的にプロファイル適用が可能です。(5ページに詳細を記載)
②	ボタン一覧	アサインやマクロの登録が可能なボタンの一覧です。
③	ボタン編集タブ	編集するボタンを選択後、編集項目の一覧を表示します。
④	選択中ボタン	選択されたボタンを表示します。
⑤	編集タブ	編集するキーを選択後、割り当てる機能を表示します。(7ページに詳細を記載)
⑥	保存	設定を保存します。
⑦	キャンセル	設定を取り消し、メインページへ戻ります。

ボタンの割り当て機能の詳細について

本項目では、マウスのボタンに割り当て可能な機能について記載します。



番号	機能名	機能
①	デフォルト	ボタンの設定を初期状態に戻します。
②	キーボード機能	キーボードの各キーの機能を割り当てる事ができます。
③	マウスの機能	マウスのボタン機能を割り当てる事ができます。
④	感度の設定	センサー機能を割り当てる事ができます。
⑤	マクロの設定	マクロ機能の割り当てと再生方法を設定できます。
⑥	プロファイル切り替え	プロファイルの割り当てと切り替え方法を設定できます。
⑦	メディア機能	音楽や映像の割り当てについて設定できます。
⑧	Windowsショートカット	Windowsの機能の割り当てができます。
⑨	無効	ボタンを押しても何も反応しない状態に設定します。

①デフォルト

- ・ボタンの設定を初期状態に戻します。

②キーボードの機能

- ・ 選択したボタンに、キーボードのキーの機能を設定する事ができます。
- ・ [ダブルクリック後、ボタンを選択]と記載された部分をダブルクリックし、割り当てたいキーをキーボードで入力すると、その機能を設定する事ができます。



- ・ 編集可能なキーおよび割り当て可能なキーを下記の表に記載致します。
([ESC]、[Windows]、[FN]キー以外は編集可能)

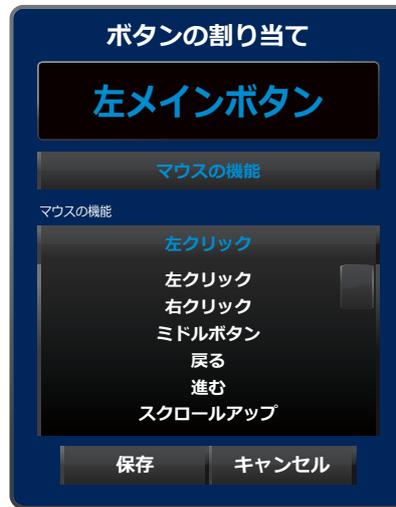
編集可能なキーおよび割り当て可能なキーの一覧

キーの種類	選択可能なボタン
アルファベット	A~Z - ^ ¥ @ [; :] , . / _
数字	0~9
ファンクションキー	F1~F12
特殊キー	Tab CapsLock Shift Ctrl Alt Space Enter BackSpace Delete
方向キー	↑ → ↓ ←
その他	PRT SC ScrollLock PauseBreak INS HOME Delete End PageUP PageDOWN MENU
テンキー	NumLock Num/ Num* Num- Num+ NumEnter Num. Num0~Num9

※上記のキーは、[Shift]、[Alt]、[Ctrl]キーとそれぞれ組み合わせる事が可能です。

③マウスの機能

- ・選択したボタンに、マウスの他のボタンの機能を設定する事ができます。



編集可能なキーの一覧

名称	機能
左クリック	左クリックの機能を割り当てる事ができます。
右クリック	右クリックの機能を割り当てる事ができます。
スクロールボタン	スクロールボタンの機能を割り当てる事ができます。
戻る	ウェブブラウザでページや階層を前に戻す事ができます。
進む	ウェブブラウザでページや階層を次に進む事ができます。
スクロールアップ	ページ送りをする事ができます。
スクロールダウン	ページ戻しをする事ができます。

④感度の設定

- ・選択したボタンに、センサーの感度設定の変更機能などを設定する事ができます。



感度の設定項目について

名称	機能
DPI切替	ボタンを押す度に[SENSOR]の項目で設定したDPI1～DPI5の順に切り替えます。
DPI増加	ボタンを押す度にDPIを50増加させます。
DPI減少	ボタンを押す度にDPIを50減少させます。
X軸ロック	ボタンを押している間、Y軸(縦)方向のみカーソルが動作します。 X軸(横)方向にマウスを動かしても、カーソルはX軸方向に動作しません。
Y軸ロック	ボタンを押している間、X軸方向のみカーソルが動作します。 Y軸方向にマウスを動かしても、カーソルはY軸方向に動作しません。

⑤マクロの機能

- ・ [MACRO]ページで登録したマクロを設定する事ができます。



- ・ クリックすると、[MACRO]ページで登録したマクロの一覧が表示されます。
- ・ 一覧の中から設定したいマクロを選択します。



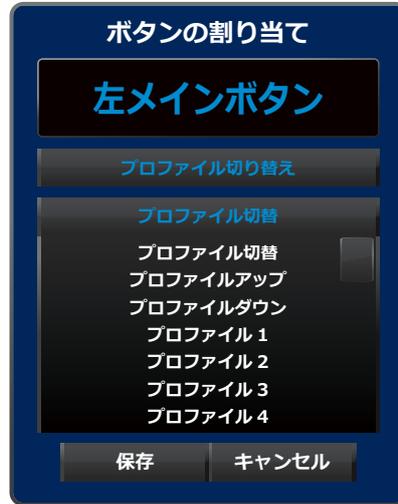
- マクロの回数設定で、[指定回数再生]を選択した場合、再生する回数と、1サイクル再生が完了して、次のサイクルの再生が始まるまでの遅延を設定する事ができます。

マクロの回数についての設定

名称	機能
一回再生	ボタンを1回押す、または押している間、登録したマクロを1回のみ再生します。
指定回数再生	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを1回押す、または押している間、登録したマクロを指定した回数再生します。 (指定回数は最大99回まで設定できます。) ・ 1サイクル再生が完了して、次のサイクルが始まるまでの遅延を設定する事ができます。 (遅延は最大4秒まで設定できます。)
ボタンを押している間、再生	ボタンを押している間、登録したマクロを繰り返し再生します。
マクロの連続再生のオン	ボタンを押す事で、マクロの連続再生のオン/オフを切り替える事ができます。

⑥プロフィール切り替えの機能

- ・プロフィールの切り替え方法について、設定する事ができます。

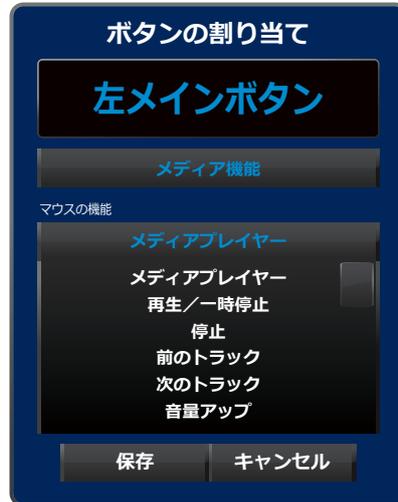


プロフィール切り替え機能についての設定

名称	機能
プロフィール切替	ボタンを押す度に、プロフィールを1～5の順に切り替えます。
プロフィールアップ	ボタンを押す度に、プロフィールを1→5の順に切り替えます。 プロフィール5の状態を入力した場合は切り替わりません。
プロフィールダウン	ボタンを押す度に、プロフィールを5→1の順に切り替えます。 プロフィール1の状態を入力した場合は切り替わりません。
プロフィール1	プロフィール1に切り替えます。
プロフィール2	プロフィール2に切り替えます。
プロフィール3	プロフィール3に切り替えます。
プロフィール4	プロフィール4に切り替えます。
プロフィール5	プロフィール5に切り替えます。

⑦メディア機能

- ・メディアプレイヤーの機能について設定する事ができます。
- ・割り当て可能な機能は、下記図および表に記載された機能となります。



マルチメディア機能の一覧

機能の種類	機能の効果
メディアプレイヤー	メディアプレイヤーを起動します。
再生/一時停止	音楽の再生と一時停止を切り替えます。
次のトラック	前のトラックへ切り替えます。
前のトラック	次のトラックへ切り替えます。
音量アップ	音量を上げます。
音量ダウン	音量を下げます。
ミュート	音をミュートにします。

⑤Windowsショートカット機能

- ・ WindowsOSで使用するショートカット機能を割り当てする事ができます。
- ・ 割り当て可能な機能は、下記図および表に記載された機能となります。



Windowsショートカット機能の一覧

機能の種類	機能の効果
現在のプログラムを終了する	現在使用しているプログラムを閉じます。
デスクトップを表示する	デスクトップを表示します。
コピー	[コピー]機能。
切り取り	[切り取り]機能。
貼り付け	[貼り付け]機能。
元に戻す	[元に戻す]機能。
全て選択	[全て選択]機能。
スタートメニュー	スタートメニューを開きます。
コンピューターロック	パソコンをロックします。
タスクマネージャ	タスクマネージャを起動します。

Windowsショートカットの詳細は下記のサイトをご覧ください。

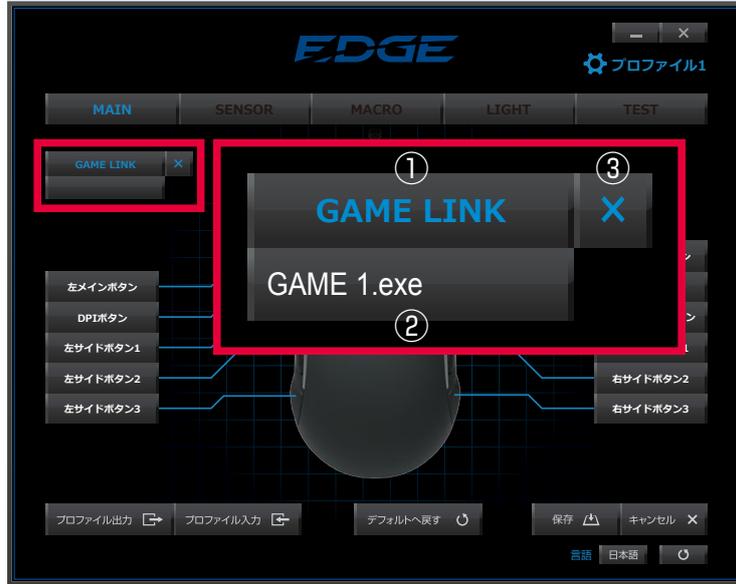
<http://support.microsoft.com/ja-jp/kb/126449>

⑥無効

- ・ ボタンを押しても何も反応しない状態に設定できます。
- ※[FN]キーを押している間は、無効化を解除する事ができます。

GAME LINK機能について

本項目では、GAME LINK機能について記載します。
[GAME LINK]機能は、プロファイルとゲームを関連付けする事で、
ゲーム起動時に自動的にプロファイルの切り替えを行う機能になります。



GAME LINK機能の一覧

番号	機能名	機能
①	ゲームリンクボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・プロファイルとリンクさせるゲームの「exe」ファイルを検索し、設定します。 ・クリック後、別ウィンドウが立ち上がりますので、設定したい「exe」ファイルを選択して下さい。
②	リンク先	リンクされている「exe」ファイル名を表示します。
③	キャンセルボタン	リンクされている「exe」ファイルをキャンセルします。

2.SENSOR設定について

本項目では、[SENSOR]の項目で設定できる機能について記載します。



センサーの編集機能

番号	ボタン名/部品名	機能
①	DPI設定メーター	<ul style="list-style-type: none"> ・ DPI1～5まで、それぞれ設定が可能です。 ・ DPIの値は、50単位で調節する事ができます。
②	X-Y軸の感度設定を有効化	ON状態でX-Y軸が同期している状態にあり、OFF状態でX軸とY軸別で設定する事ができます。
③	加速	ポインタの加速度を10段階で調節する事ができます。
④	マウスポインター速度	ポインタの速度を10段階で調節する事ができます。
⑤	スクロール速度	マウスのスクロールの移動量を10段階で調節する事ができます。
⑥	ダブルクリック速度	ダブルクリックを認識する速度を、10段階で調節する事ができます。
⑦	ポートリングレート	ポートリングレートの速度を125Hz、250Hz、500Hz、1000Hzの4段階で調節する事ができます。
⑧	センサー調整機能	センサーのキャリブレーション機能などの設定を行う事ができる項目です。

①DPIの設定について

本項目では、センサー感度の調整について記載します。



このカーソルを、
青色のライン上でドラッグし、
調整します。

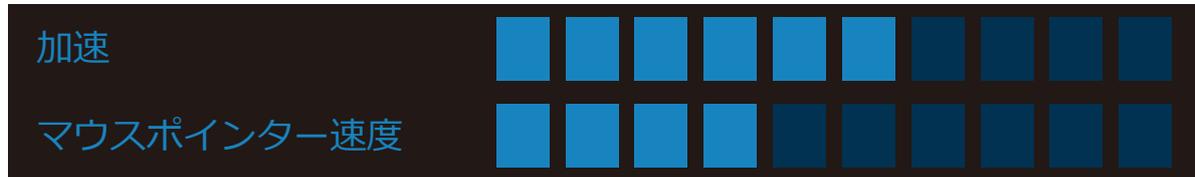
- ・ DPIは5段階で設定が可能です。
- ・ メーターは左側がDPIは低くなり、右側が高くなっていく仕組みになっています。
- ・ DPIの値は、50単位で調整が可能です。

②X-Y軸の感度設定の有効化について

- ・ ON状態でX-Y軸が同期している状態にあり、OFF状態でX軸とY軸のDPIを別々に設定する事ができます。

③④マウスポインターの加速度と速度について

- ・マウスポインターの加速度と速度の設定について調整する事ができます。



- ・加速度、速度は10段階で調整可能です。
- ・左側が低速、右側が高速になります。

⑤スクロール速度の設定について

- ・スクロールを回転させた際のスピードに対して調整する事ができます。



- ・速度は10段階で調整可能です。
- ・左側が低速、右側が高速になります。

⑥ダブルクリック速度の設定について

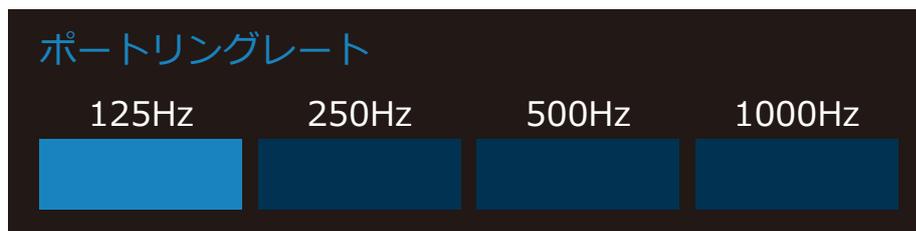
- ・ダブルクリックを認識する速度について調整する事ができます。



- ・速度は10段階で調整可能です。
- ・左側が低速、右側が高速になります。

⑦ポートリングレートの調整について

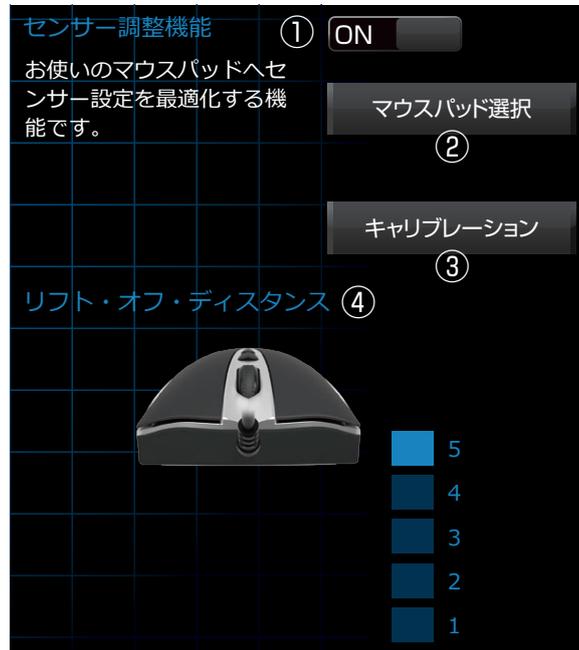
- ・マウスとPC間の通信頻度の設定について調整する事ができます。



- ・125Hz、250Hz、500Hz、1000Hzの4段階から選択できます。

⑧センサー調整機能

- ・本製品に搭載されているセンサー『SDNS-3988』の設定方法について記載します。



番号	ボタン名／部品名	機能
①	センサー調整機能	センサーのキャリブレーションなどの設定を行う事ができる項目です。
②	マウスパッドの選択	キャリブレーションの項目で登録したマウスパッドを一覧から選択する事ができます。
③	キャリブレーション	キャリブレーションのウィンドウが開きます。
④	リフト・オフ・ディスタンス	センサーの反応する高さを、5段階で調整する事ができます。

センサー調整機能について

- ・センサー調整機能により、センサーのトラッキング性能を高める事ができます。
- ・この機能はON／OFFが可能であり、必要に応じて使用する事ができます。
- ・調整機能のON／OFFは、①のボタンをクリックする事で切り替える事ができます。

キャリブレーション機能

- ・マウスパッド等の表面をスキャンし、適切なセンサー設定を行う事ができます。



キャリブレーション機能

番号	ボタン名／部品名	機能
①	マウスパッド選択	<ul style="list-style-type: none"> ・マウスパッドの種類を変更できます。 ・名称の変更もここで行う事ができます。
②	追加	新しいマウスパッドのキャリブレーションの設定を行う事ができます。
③	削除	設定したマウスパッドのキャリブレーションを削除します。
④	キャリブレーション画面	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリブレーション操作が表示されます。 ・キャリブレーション時の操作方法イメージが表示されます。

▼キャリブレーション準備

1. [キャリブレーションボタン](18ページの図を参照)を押して、キャリブレーション画面を出します。
2. [追加]ボタン(下図の②)を押して、登録したい表面を追加します。
※[名称タブ](下図の①)をクリックして名称をお好みに変更する事もできます。
※削除したい場合は、表面を選択後に[削除]ボタン(下図の③)を押してください。

▼キャリブレーション開始

下図の④の上で[左クリック]を押すことで、キャリブレーションが開始され、マウスの軌道が表示されます。

3. キャリブレーション動作

キャリブレーション動作を開始すると、④の表記が『キャリブレーション中』に変わります。[左クリック]を押している間は、この動作を続けます。

キャリブレーションは、10秒間程度動かし続ける事で完了します。

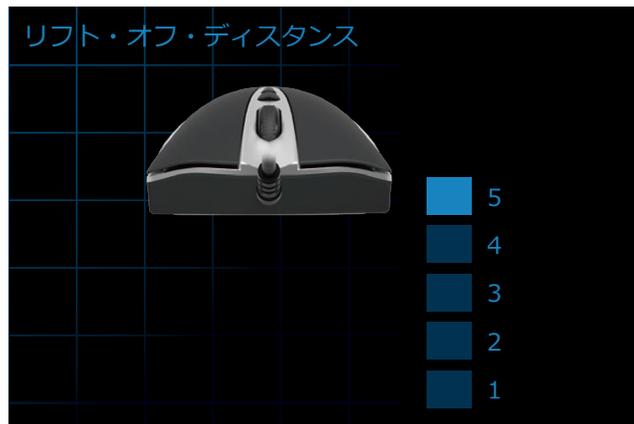
※仕様上、白色や光沢のある色味やガラスの上などでは、十分な反応が得られない場合があります。

※キャリブレーション後にセンサーの動作が安定しない場合は、再度キャリブレーションを行う事で改善される場合があります。



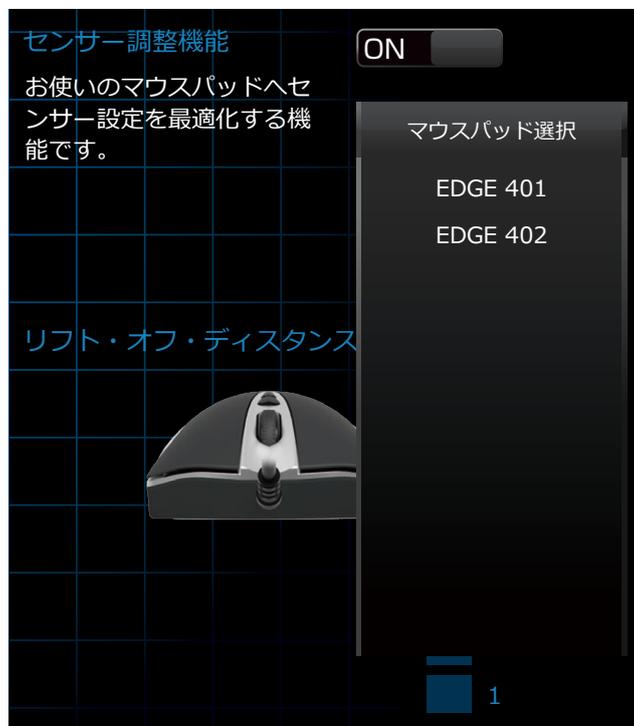
[リフト・オフ・ディスタンス]について

- ・本製品では、[リフト・オフ・ディスタンス]を5段階に設定できる用になっています。
- ・数値が低い程、センサーが反応する距離が狭められます。
反対に数値が大きくなる程、反応する距離が長くなります。
- ・センサーキャリブレーションを実施した後に、[リフト・オフ・ディスタンス]にて調整を行う事でより良いトラッキング性能を得られます。



マウスパッドの選択について

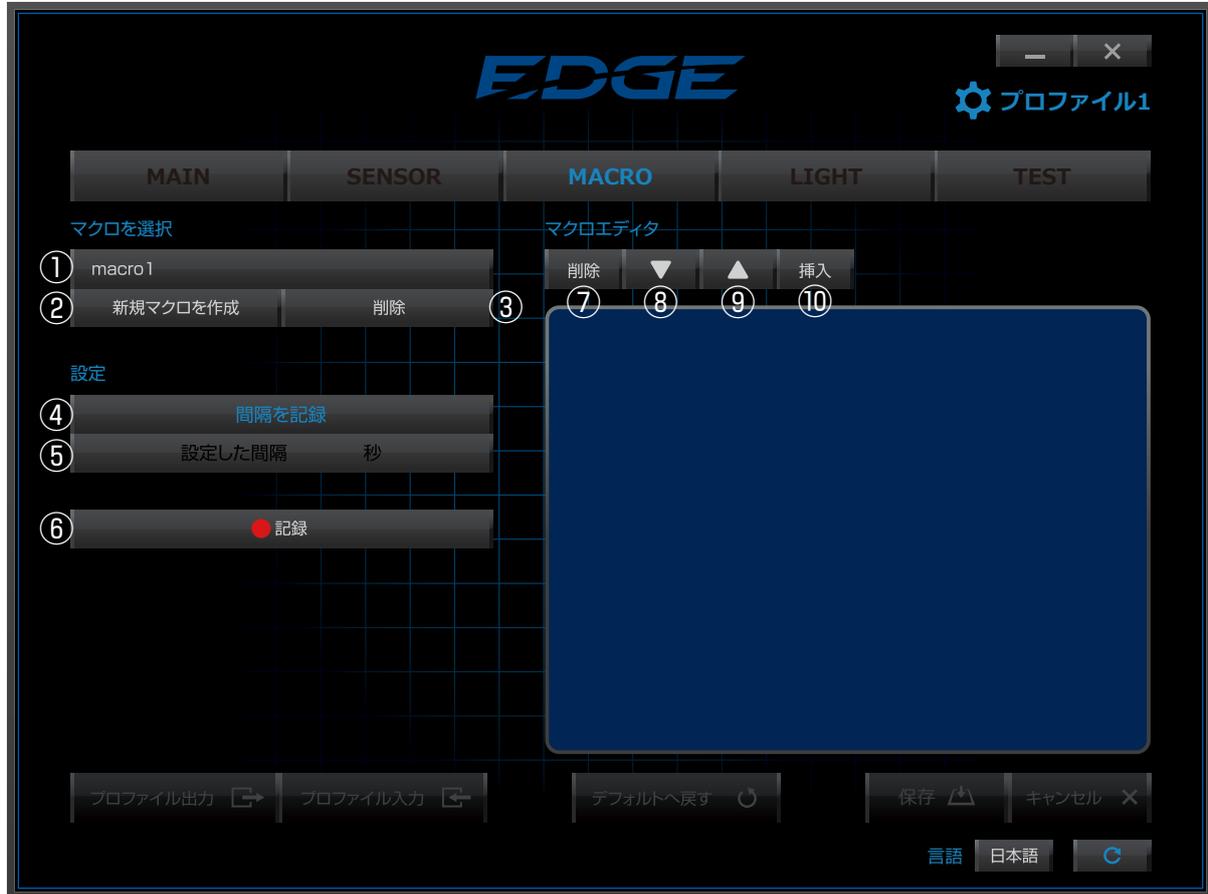
本製品では、一度キャリブレーションを行ったマウスパッドの情報を記録し、選択する事が可能です。



- ・[マウスパッド選択]ボタン(上図の①)では、登録したマウスパッドの一覧が表示されます。
- ・一覧からマウスパッドを選択する事で、センサーをそのマウスパッドに最適化された状態に設定する事ができます。

3.MACRO設定について

本項目では、[MACRO]の項目で設定できる機能について記載します。

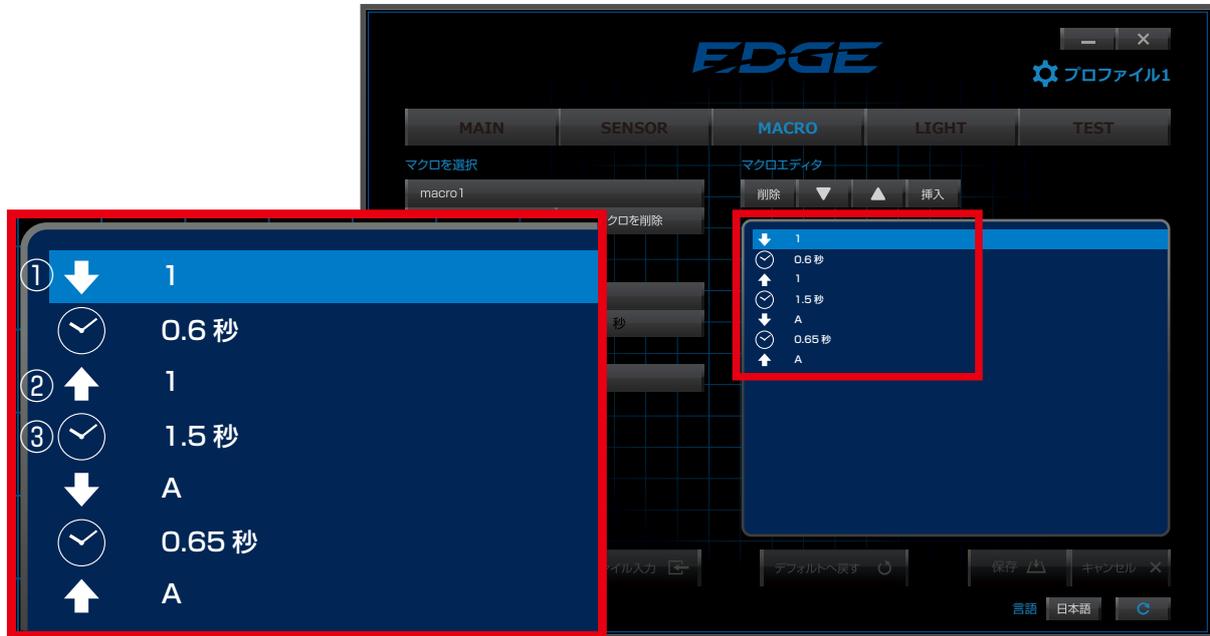


マクロの機能

番号	ボタン名	機能
①	選択タブ	今までに作成したマクロの一覧を表示し、 選択したマクロの内容を確認・編集することができます。
②	新規マクロの作成	新しいマクロを追加します。
③	削除	作成したマクロを削除します。
④	間隔を記録	入力した間隔通りに時間を記録し、マクロを設定します。 (23ページに詳細を記載)
⑤	設定した間隔	入力間隔の固定秒数を設定し、マクロを設定します。 (23ページに詳細を記載)
⑥	記録／停止	マクロの記録を開始／終了します。
⑦	コマンドを削除	選択したコマンドを削除します。(24ページに詳細を記載)
⑧	コマンドを下へ移動	選択したコマンドを下へ移動します。(24ページに詳細を記載)
⑨	コマンドを上へ移動	選択したコマンドを上へ移動します。(24ページに詳細を記載)
⑩	コマンドを挿入	選択した部分に新しいコマンドを挿入します。 (24ページに詳細を記載)

マクロエディタについて

本項目では、マクロエディタに表示される内容について記載します。



マクロエディタの機能

番号	ボタン名	機能
①	[押す]マーク	ボタンを押した表示。 この表示よりボタンを押している判定になります。
②	[放す]マーク	ボタンを離した表示。 この表示よりボタンを放している判定になります。
③	[間隔]マーク	次の動作までの時間を表示。 ※時間は9秒まで設定可能です。

マクロの記録について

本項目では、マクロの間隔設定について記載します。
間隔設定は2つの記録方法から選択できます。

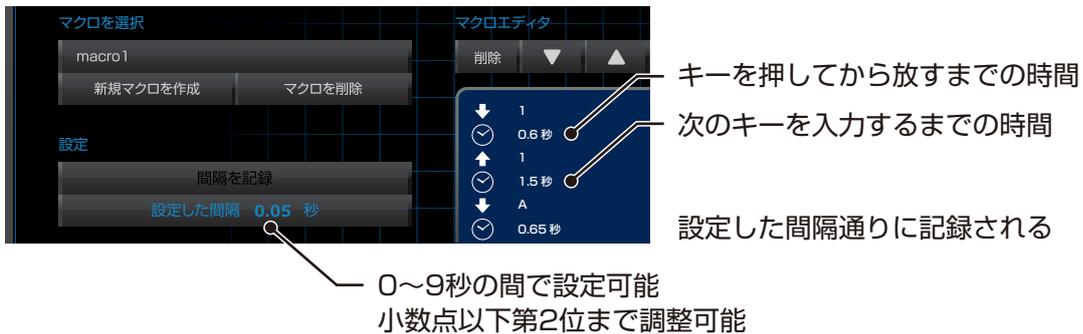
①[間隔を記録]について

- ・記録時にユーザーのキーを押している時間、次のキーを押すまでの時間が、入力した間隔通りに記録されます。



②[設定した間隔]について

- ・ユーザーが設定した秒数通りに、キーを押している時間および次のキーを押すまでの間隔が記録されます。



※マクロで実行可能なキーの入力数は、64動作までとなります。

コマンドの[削除]について

- ・ 選択したコマンドの、「押し」、「放す」、「設定した間隔」も一緒に破棄されます。
- ・ 設定した時間間隔を削除した場合は、設定されていた秒数が0秒になり、同時押しされる状態になります。

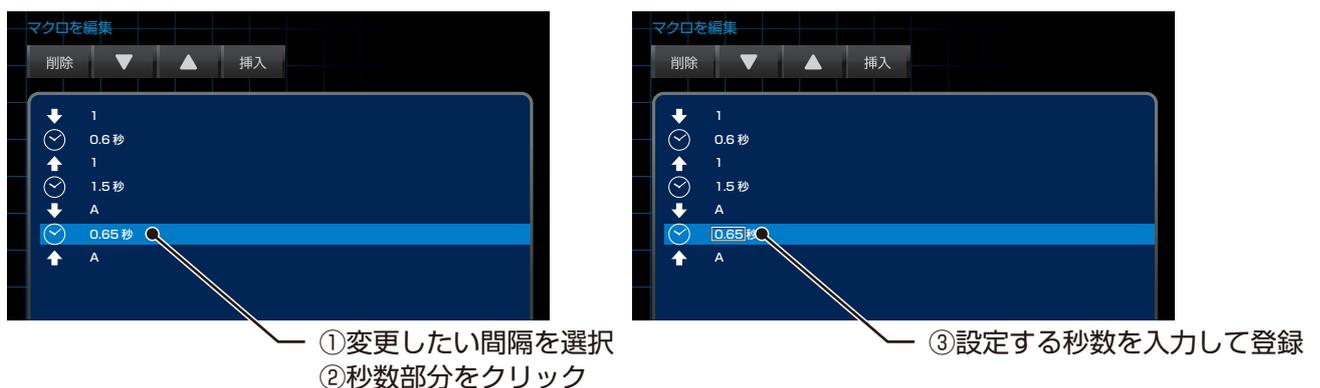
コマンドの移動[▲(上)]と[▼(下)]について

- ・ コマンドの移動編集では[▲(上)]と[▼(下)]でコマンドの順番を入れ替える事ができます。
 - ・ 選択したコマンドを上側もしくは、下側のコマンドと入れ替えます。
- ※この際に同一キーの『押し』より早く『放す』などの移動はできません。



[間隔]の秒数変更について

- ・ 一度設定した[間隔]の秒数は変更する事ができます。
- ・ 変更手順は下記図に記載します。



4.LIGHT設定について

本項目では、[LIGHT]の項目で設定できる機能について記載します。
サイドボタンのライトの色調や点滅速度などを設定する事ができます。



ライトの設定

番号	機能名	機能
①	ライト色	標準のカラーパレットから、ライトの色を設定する事ができます。
②	ライト色設定	ライトの色を細かく設定する事ができます。
③	輝度設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトの輝度を、ダイヤルをドラックする事により、0～3段階で調整できます。 ・0に設定すると、消灯状態となります。
④	点滅速度	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトの点滅速度を、ダイヤルをドラックする事により、0～10段階で調整できます。 ・0に設定すると、常時点灯状態となります。

5.TEST機能について

本項目では、[TEST]の項目で行う事ができる機能について記載します。



テスト項目について

番号	テスト名	機能
①	連射測定	<ul style="list-style-type: none"> マウスの連射性能をご確認頂けるテストです。 [測定開始]ボタン(上図の③)を押す事で、測定画面に移行します。
②	速射測定	<ul style="list-style-type: none"> マウスの反応速度をご確認頂けるテストです。 [測定開始]ボタン(上図の④)を押す事で、測定画面に移行します。

・ トップメニューには、それぞれのテストの自己ベストが記載されます。

①連射測定

- ・このテストでは、どれだけ早くクリックを連打できたか測定する事ができます。
- ・下図の①をクリックすると、テストが開始されます。
- ・10秒間のうちに、下図の①を何回クリックしたのかを測定します。
- ・自己ベストの記録として、一時間あたりのクリック回数が、TEST項目のトップメニューに記載されます。



- ・紺色の四角の枠内が、クリックされた回数を測定できる範囲となります。
- ・枠外でクリックされた場合はカウントされない為、ご注意ください。

②速射測定

- ・このテストでは、どれだけ早く反応できたか測定する事ができます。
- ・下図の①をクリックすると、テストが開始されます。
- ・円の色が青から赤に変化しますので、赤に変わったらクリックしてください。
- ・赤に変わってから何秒後に反応できたかを、合計5回測定します。
- ・自己ベストの記録として、合計5回の平均秒数が、TEST項目のトップメニューに記載されます。

テスト開始前画面

テスト中画面



- ・円の色が青から赤に変化したら、クリックします。

- ・青色の円の枠内が、クリックできる事を測定できる範囲となります。
- ・枠外でクリックされた場合はカウントされない為、ご注意ください。